

第一班

新島第一六四三

大正六年二月八日

日於新島

新高艦長 海軍大佐安村介一

大正六年一月一日

戰時日誌

一月一日

月曜日

彼南

天候晴風 向北東一北西

氣圧最高三〇・三 最低三〇・〇

氣温最高八・六 最低七・五

午前遠拝式 御真影奉拝

一月二日

火曜日

彼南

天候晴風 向北東一北西

氣圧最高三〇・二 最低三〇・〇

氣温最高八・三 最低七・六

午前御勅諭奉讀 新年三付艦長訓示

0321

一月三日 水曜日 彼南

天候晴風向東北西 气压最高^{三〇二}最低^{三〇〇} 气温最高^{八六}最低^{七六}
午前 遙持式 分隊講話

駆逐艦梅第十駆逐隊司令より無電

明日午前七時彼南着

~~英司令長官より當地港務長宛警戒ヲ嚴シク急ニ應テノ用~~
意アルハキ旨ヲ艦船ニ傳ヘ書面ニ接シ汽缶ニ点火用意
ヲ行ヒ四直クノト本日ヨリ實施ス

一月四日 水曜日 彼南

天候晴(細雨)風向東北西 气压最高^{三〇二}最低^{二九五} 气温最高^{八六}最低^{七七}

午前日曜日課施行 新艦長 安村大佐 着任
旧艦長 岩田大佐 退任

午後同右

岩田新高艦長ニ訓令 大正五年十月十八日
於香港旗艦須磨

一前電独國補助巡洋艦ノ印度洋出現ニ備ヘ其ノ企圖ヲ破壊

スル目的ヲ以テ英國支那艦隊司令長官ハコニウヲルヲ喜望峰

方面ニ出シ其ノ艦隊ノ残リ全部ヲ以テ西印度及セレブス海ノ

警戒ニ任ス

二其ノ艦ハ急速出港準備ヲ整ヘヤナンニ回航シテ英國支那

艦隊並ニゴロンボニ於ケル明石ト策應シ以テ敵ノ印度洋出現

ニ對シ檢閲ノ処置ヲ執ルヘシ

三本職ハ須磨ヲ率井三十日當地發一月六日新嘉坡着ノ事

定

第六戰隊司令官小栗孝三郎

英司令長官ヨリ岩田新高艦長宛警戒ニ關シテ急ニ飛信ヲ發スルハキ旨ヲ艦
ニ伝ヘテ其ノ處ニ檢閲ノ洗艦ニ點火用高射砲行ヒ望ムト本日ヨリ實施ニ且ツ
自今哨戒砲六吋砲二門ヲ増加ス大時砲四門三吋砲二門トナル

英國支那艦隊司令長官ノ協議ニ依リ(梅楓)新高(桂楠)
ノ順序ニテ三日間(哨区)往復日數ヲ除ク宛哨戒勤務ニ服スル
コトナシ今夕梅楓哨区ニ向ケ發九日午前八時哨区ニ於
テ新高ト交代ノ事定

一月五日 全曜日 彼南

天候晴風向北東一北西 气压最高三三二 最低三三〇 气温最高八六 最低七六

午前敵艦發見ニ関シ艦長訓示、艦内倉庫彈藥庫点
檢

明石艦長ヨリ通報

一英國支那艦隊司令長官ノ訓令ニ基キ協同哨戒致シ度旨
當方面哨戒艦々長ヨリノ協議ニ應シ同艦ト一週間交代シ
北緯三度四十分乃至五度四十分東經七十九度乃至八十五度ナル第

一 哨区ニ出勤哨戒ニ任セントス

二 哨区目下出勤中ニ付本艦十二日頃新艦長以下乗艦ノ上
交代ノコトニ交渉ニ置ケリ

三 独武装商船當方面ニ出現スルトキ明石ハ北緯三度四分乃至
七度東經八十五度乃至八十五度ナル第二哨区ニ出勤警戒セラ
レ度旨英長官ヨリ依頼アリタリ

一月六日 土曜日 彼南

天候晴驟雨風向北東 气压最高三〇二 最低三〇五 气温最高八七 最低七七

午前載炭英炭五十六噸 其後早四噸 其後レ行動上遺憾ナカシニ為テ常時炭水

満載状態ニアタトノ方針ニ基キモナリ

午後載炭

一月五日午後十時頃自赤白ノ三灯ヲ連掲セシ商船入港セリ
（供養無通知）

(Novara) 當港々則トシテ夜間出入スル船舶ハ港務長許
 可ヲ要レ港務長ハ之ヲ在泊船舶ニ通知スルヲ常トセリ故ニ本
 日士官ヲ遣ハシ之ヲ哨^詰メ^ルニ P & O 並ニ B & I Company
 (Mackay) 船長モ其ノ出入港通知ナキヨリ之ヲ船舶ニ傳ヘテ
 得ス又彼ノ灯火ハ代理店ニ對スル私設信ヲナラントノ事ナリキ
 新嘉坡カンニング砲台ニ於テ陸軍指揮長官ヨリ港務長
 一訓令ノ要旨(譯)
 一船舶ノ出港時日ハ如何ナル事務所ニテモ之ヲ公示スルヲ禁ス
 二検閲官ハ船舶ノ行動ヲ通報スル電報ニテ船舶ノ名称出入
 港日時ヲ記載スルモノハ之ヲ致信セシムヘカラス
 三代理店船長船主ノ電報ニハ船名ノ代ニ船長名ヲ使用スルヲ
 要ス之レ第二號ノ困難ヲ去ランガタメナリ本號ハ信用スヘキ
 個人ニアラザレハ之ヲ知ラシムヘカラス

0326

前項規定ハ各船主代理店ニ電報スルヲ要ス

四 前諸邦ノ規定ハ英船並ニ中立國船舶ニ適用ス

五 船舶出港ニ関スル事項ハ船會社又ハ商社ノ同合人ノ身

分ヲ知り得ルモノニアラサレハ決シテ電話ヲ通報スヘカラス

船舶ノ行動ハ新聞紙上ニ廣^告スヘカラス又在港船舶入港

出港ノ豫定日ノ引札ヲ發行スヘカラス

此種ノ通報ハ信用アルモノニ限リ頒布レ且ツ成丈ケ必要

欠クヘカラスル範圍ニ止ムヘシ

一月七日 日曜日 彼南

天候晴驟雨風 向北上東一北西 气压最高三〇・五 最低三〇・三 气温最高八・六 最低七・六

午前艦中大掃除 防火教練

第六戰隊參謀ヨリ電報

0327

本日入渠ス九日出渠ノ豫定入渠中ハ無線電信使
用出来ス

一月八日月曜日哨戒巡航正午位置

Panang West

Mountain 568 E 42 度

Mountain 568 E 42 度

N 14 E

天候晴風向北東カ。一ニ 气压最高三二四最低三〇三 气温最高二八最低二七

午前六時彼南出港哨区ニ向テ原速九節

午後基本教練

午後六時三十分水雷防禦

自後艦内ハ常ニ水雷防禦ノ状態ニアラシメ燈火ハ外部ニ
漏レサル如ク隠蔽シ艦内ハ直哨戒ヲ行フ

午後八時英艦ヲサイケテ彼南ニ級港スルニ遭フ

海軍大臣
第六戰隊司令官 宛

0328

哨戒ノ為メ引島沖ニ向ケ發

新高艦長

一月九日火曜日哨戒巡航正午位置北緯六度十六分半
東經七十六度七十分半

天候曇驟雨風向東一北東
力二六 気圧最高三・六
最低三・四 气温最高八・四
最低七・八

午前部署教育

午前七時半駆逐艦梅楓ト會合哨戒任務ヲ交代ス本日ヨリ

灯火蔭蔽ノ目的ヲ以テ航海諸燈ハ西舷々燈ノミヲ出シ

他ハ比自隨時点燈シ得ル準備ヲナシ置クニ止ム又艦燈

ニ油燈ヲ使用ス

梅一木艦五口左舷ニ汝ノ煙ヲ認ム

新高一梅 昨夜八時頃英艦サイケニ遭フ彼南ニ級以テスル

由ナリサイケハ味方暗号ハ改正ノモト使用セリ

哨戒ヲ受取ル敵船ニ関シ後報ヲ得ズ須磨五

日新嘉坡入港七日入渠九日出渠事定

梅—新高午後六時哨戒東端ニ在リ推測位置道梅六

度十五分相六度三十分異状ナレ

第十駆逐隊司令

一月十日水曜日哨戒巡航正午位置北緯六度九分一分

天候曇驟雨風向北々東 気圧最高三〇・一五 最低三〇・〇六 気温最高八・三

午後運用術 補修教育

一月十日水曜日哨戒巡航正午位置北緯六度三十分

天候晴風向北々東 気圧最高三〇・一五 最低三〇・〇五 気温最高八・二

午前銃器点検

須磨―新高

須磨ヲ率井一月十三日午前八時發彼南ヲ至古倫母三回

航ス

十日第六戰隊司令官

一月十一日金曜日哨戒巡航正午位置北緯六度三十分半
東經九十六度十五分半

天候晴風向東北東 气压最高九九・八最低九九・六 气温最高八二最低八〇

午前武器点検

午後三時五分二櫓一煙突汽船ヲ認メ漸次十三節半ノ回轉

ニ増速之ニ接近セントセシモ及ハス談汽船ハ烟突章及船体等ヨリ

英印汽船會社汽船ニテ其ノ航路ヲ推測シテ古蘭貢

航行ナルト思ハルヲ以テ追躡ヲ中止ス

0331

一月十三日土曜日哨戒巡航正午位置北緯五度五十分
東經七十七度五十分

天候半晴風向北東一東葉
力三―五气压最高三〇・七
低二九・七气温最高八・五
低八・〇

午前艦内大掃除 防火教練

楠―新高

駆逐隊、飯途日没迄ニマタク島ヲ見サル時ハ安シ難ク交代時
間ヲ今後午前六時ニ致シ度シ

貴艦帰港後左ノ件傳達サレ度シ

第一小队次回ハ午前六時ニ出港シ燃料節約ノ夕ノ魚速
十節ノ回轉ニ来レ其他ハ明朝午旗信務ニテ

第十駆逐隊司令

新高―楠

異常ナル遭遇船哨区南西ニ西航ス汽船ニ哨区東方外
附近ニ甘蘭貢行多キ英印会社船一隻ヲ認メテ本艦明朝

0332

旧錨地ニ着セントス英艦在泊シテクニテハ其ノ錨位及駆逐
隊錨位知ラセ

本艦ノ実験ニシテハ哨区潮流ハ東經九五度五分附近ニ於テ
西ニ二哩九十六度附近ニ於テ西北西ニ一三四ナリ

楠一新高

彼南ニ積ミ名油、水ハイリ居リニ回機械ヲ止メ名故予定
ヨリ時間遅ル

楠一新高

貴艦推測位置知ラセ度シ

新高一楠

午前七時、位置北度十五分東九七度四

楠一新高

吾貴艦推測位置ノ北五哩ニ達シ貴艦ヲ捜シ居レリ

0333

哨区ヲ受取ル

第六戰隊司令官工

午前八時哨区ヲ第十駆逐隊第二小隊司令官引率ニ引継
キ十二節ニ対スル炭費試験並ニ焚火競技ヲ行ヒ彼南向
天候曇風向東力五―六針路南七十八度東八時推測
位置北九十七度十二分六度十二分

十三日 新高艦長

第六戰隊司令官工

第一回哨戒行動報告

一 行動八日午前六時彼南出港原速九節九日午前八時
第十駆逐隊第二小隊ト交代哨区ニ就キ午後八節ヲ哨
区往復夕刻ロンド島ヲ認メ該島並ニウイリムローレン燈
台ニヨリ艦位ヲ確メ夜間東航ノ針路ヲ取ル如ク行動ス

0334

日午前七時十駆逐隊第二小隊ト交代ス

二、遭遇船舶八日午後八時哨区外ヲカマトラレ方面ヨリ彼南

方面ニ向テ英艦「カイケ」並ニ蘭艦一其他哨区東方ノ南方

ヲ西航スル汽船ニ、哨区ノ東方区外ヲラングレン方面ニ向テ鬼

ハル、英印汽船會社汽船一

三、天候及海流九日東東北東風速吹五乃至六海上荒ウシ

島附近ニハ屢々驟雨ニ會ス東至九十六度以西ヲハ西北西流

約一節半

四、行動用需品、行動用炭現量二百七十八平常用炭現量四〇

行動用外部油二四三五立、今内部油七九立糸屑五三キ口行動

用本日正午迄ノ消費量行動用炭三八九同上平常用

一、同上内部油一〇立、外部油四八六立、糸屑四九吉

五、患者一五、休業四

十三日新高艦長

一月十四日 日曜日 彼南

天候晴 風向北東

气压最高 $\frac{30.9}{9}$ 最低 $\frac{29.8}{8}$

气温最高 $\frac{8}{7}$ 最低 $\frac{7}{9}$

午前七時四十二分 彼南着

午前載炭

英炭二百五十噸
英煉炭五十噸

新高一須磨

第六戰隊司令官

午前七時四十五分 彼南着 外國軍艦在泊セズ

本艦錨位 倍那等 南八十六度 西四五鐘

須磨一新高

新高艦長 須磨十五日 午前八時入 供、定 英國海軍官憲

二 予報方 取計 可シ

0336

第六戰隊司令官

一月十五日 曜日 彼南

天候 雨 風 向 北 東
力 〇 一 二
氣 壓 最 高 三 〇 九
低 二 九 八
氣 溫 最 高 八 四
低 七 六

午前八時 須磨入港 船長司令官訪問

英國官憲來訪
Residents Councilors
J. T. Bryant.

Stunt Colonel A. R. Adams V. D.

Commandant Penang Volunteers.

Com. D. C. Macintyre
Resident Naval Officer

Penang.

船長義勇隊長 アダムス 陸軍中佐 答訪ス

0337

一月十六日 火曜日 彼南

天候晴驟雨 風向北東 北西 氣圧最高 1008 最低 1001 氣温最高 8 最低 7

一月十七日 水曜日 彼南

天候晴風向北東 氣圧最高 1005 最低 1000 氣温最高 8 最低 6

午前第六戰隊司令官巡視 船内倉庫兵器彈藥庫短艇
点検

午後運用術補修教育

一月十八日 木曜日 哨戒巡航 正午位置 北緯 5 度 35 分 東經 99 度 45 分

天候晴風向北東 氣圧最高 1003 最低 998 氣温最高 8 最低 7

午前五時五十分出港哨戒 向 7 原速九節

溺者救助教練、防水教練、防浪蓆装着、 2 、 4 節、 3 條航傳

タリ

午後自差測定

水雷防禦 艦中戒教練

本日ヨリ水雷防禦状態ノ終トシ艦中ハ水雷戒ヲ行フ

新高一須磨

吾台角燈台北六十度西十度ニ於テ溺者救助教練 防水

教練ヲナシ 防水蓆装着ノ終四節ヲ徐航ニ得タリ九時早

分防水蓆ヲ收メ哨区ニ向テ原速九節

新高一須磨第六戦隊司令官ハ

パラク島北西七度ニ於テ自差測定ヲ行ヒ午後六時半終了

哨区東端ニ向テ針路北七十八度西原速九節

須磨一新高
十八日 新高艦長

第六戦隊機密第五九号ニ

大正六年一月十八日航津於旗艦須磨

第六戰隊司令官小栗孝三郎

第三艦隊機密第九十九号ノ三三八當分ノ間之ヲ本隊ニ適用セズ

新高一梅第十駆逐隊司令へ

午後六時ノ位置ヲラク島ノ北西八哩針路北七十八度西原速九

節明朝午前八時ノ位置北緯六度十四分東經九十七度

新高艦長

一月十九日 金曜日 哨戒出航 正午位置 北緯六度十分 東經九十七度五分

天候 風 向北東一東 力一三 气压 最高三〇・〇九 最低二九・九五 气温 最高八・四 最低八一

午前三時五分一汽船ヲ詔メ漸次増速シ之ヲ追及英國給炭船

Hamwinton (船名符號SKYVW)ナルヲ確ム

同七時五分第十駆逐隊第一小队ト交代哨戒ニ從事ス

午前砲術部署教育

午後六時八分第六戰隊司令官ヨリ別記ノ訓令ニ接レ彼南

做港ノ途ニツク

午後六時半分合戰準備復旧

艦長訓示司令官ヨリノ訓令ヨリ哨戒ヲ中止スヘキコトニ付キ

新高一梅第十驅逐隊司令、

英國結炭船(ハリストン)ヲ訊問セシタメ會合一時間半以上遅

ル

十九日新高艦長

梅一新高

吾今臨檢ノ夕ナ少シ後ル

新高一須磨第六戰隊司令官へ

午前八時北六度^譯十分東至九十六度五十五分ニ於テ第十驅逐

隊ヨリ哨戒ヲ引継ク

新高艦長

須磨―新高

別記新高艦長

一 獨國補助巡洋艦ハ南太西洋ヨリ目下警戒ノ必要ナキ

旨英國支那艦隊長官ヨリ電報ニ接セリ

二 其艦ハ出動哨戒ヲ中止シ彼南ニテラ機宜策動準

備スルニ

十九日第六戰隊司令官

新高―須磨

午後六時北六度九分東九十五度三十六分五

訓令ニ依リ哨戒ヲ引揚ケ彼南ニ向フ其日未明入港ノ事定

十九日新高艦長

須磨―新高

左ノ電軍令部長、第三艦隊長官、馬公要港部司令官、
電頼△

前電、英國及裝巡洋艦ハ南米東岸ニ出沒シ、聯合國商
船ヲ撃沈ス、又ハ捕獲ニ從事シ居レルニ依リ、当分、当方面ニハ
出現セサル可シトノ見地ヨリ、当方面ノ哨戒ヲ一時中止ス、キ
レ、廿九日、英國支那艦隊長官ヨリ、電報照會ニ接セリ
依テ、各艦ヲシテ哨戒ヲ撤セシメ、新高第十駆逐隊ハ彼南
ニ於テ、明石ハ古倫母ニ於テ待機セシム

二十日第六艦隊司令官

一月二十日土曜日哨戒巡航正午位置
北緯五度五十五分
東經九十七度五十分
天候晴驟雨風力二三
气压最高三〇・五
最低二九・七
气压最高八・三
最低七・九

午前 防火教練 人力操舵教練
午後 防火隊派遣教練

一月三十日 日曜日 彼南

天候晴凡向北東―北西 気温最高八下 気圧最高三〇・九
カ―一三 低七八 最低二九・九五

午前七時四十分彼南着

露國板装巡洋艦「モリス」入港訪問使ヲ出不

分隊点検 勅諭奉讀

露國板装巡洋艦「モリス」答訪使來艦

第六戰隊司令官へ廣田少佐ヨリノ電取次リ

一月十九日馬尼刺根村領事ヨリ左ノ電アリ信偽不明ナレ共

一西國人ノ談ナリトテ德國潜水艇ニ隻菲律賓嶺諸島近海

ニ現レ一隻ハカンパレルナレトシ海峡又ハガラバツクレ海峡ニアリト噂アリ

念ノ夕メ

新高艦長

一月二十三日曜日 彼南

天候晴 凡向北東一北西 气压最高三九・〇八 最低三九・九三 气温最高七八・五 最低七・六

午前 基本教練 露國仮装巡洋艦P1777 艦長來訪直良
艦

午後 艦長露國仮装巡洋艦P1777 艦長來訪
第六隊司令部官へ廣田少佐より電次り

一月十八日附英國海軍省より、情報に依り、前電德國補助
巡洋艦一月十九日午後六時南緯七度西經三十五度十分地
点に現レタリト尚ホ其拿捕セル英國商船 St. Maddala
二橋一煙突無線電信ヲ備テ厚達十二節以下ニ砲門
ヲ取裁シ捕獲員乗組ナルヲ以テ掠奪ニ從事セルアルガ

0345

如レト云フ

新高艦長

第六戰隊司令官へ

英國支那艦隊長官より当地艦報官宛に紀甲船通過
電報アリタリトノ通知ニ接レテ号ノ意味答へ墨ケリ

(甲号)一月十五日附在ポートブレイ^{無標}カイケヨリ左ノ電ヲ受領セ

リヨコバール群島巡邏中トシカウ止島住民より一月九日頃迄

声ヲ耳ニスニ橋船南方より来リ暫時ニシテ引返セリ目撃

セル旨報告ニ接レ住民ニツキ直接取組セル右報告信

スヘキ船舶アリ且ツフアンガマン群島^フキ^フコ^ハミ^ツモ^トナ^シノ言モ右

同様ナリ該船ハ多分日本巡洋艦ナリト信ス

(乙号)本艦^味算テ同地ニ回航セリトナリ且又哨戒中發砲セ

レコト一回ナレ

二十日

新高艦長

0346

一月二十三日 火曜日 彼南

天候晴風 向北—北東 气压最高 五〇・五 最低 四九・四 氣温最高 八・五 最低 七・六

午前 運用術補習教育

午後 雑業

一月二十四日 水曜日 彼南

天候晴風 向北東—北西 气压最高 五〇・二 最低 四九・八 氣温最高 八・四 最低 七・七

午前 戴炭 英糖炭 二六〇噸 四〇噸

楠—新高

明日午前二時 阿ノ島北十層厚速十節

第十駆逐隊司令

第六隊隊司令官宛

左ノ當者地階務長ヨリ通知アリタリ

0347

獨逸及裝洋艦一月十日午後六時南緯七度西經三十五度
十六分、地点に現レ煙突伸縮自在擬煙突ヲ備スモノ、
如シ拿捕セル英艦 *St. Nicholas* 其ノ乗員ヲ乗組マシメ
大砲二門ヲ驅載シ掠奪ニ從事セシメ、アリ其ノ要目
左ノ如シ

四九九噸(グロス) 長四〇五呎 中五二呎 深三〇呎 ホールマストレニ「デッキ」
ヲ備フ每直ノ煙突一中央ニ「リ」フオウクスレ「フ」上部「構造」
物アリ其ノ中間ニ「ウ」ニ「デッキ」(Well Deck)アリ煙突ノ前方
五十呎ニ艦橋海面空アリ船室(上甲板)ニ後方アリ煙突ノ
後方ニ當リ船室ノ上方及艦橋ノ両側ニ短艇各一隻ヲ備
フ煙突前方ニ二個ノ「カ」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」
稍低キ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」ニ「ク」
信ヲ備フ車踏車連カ十三節以下

新高艦長

新高艦長第十駆逐隊司令官訓令

一 新高第十駆逐隊ハ右表満載毎週約一回交互ニサバン
沖ニ出動シテ同港ニ在泊セル敵國商船ヲ監視シ以テ其
脱出ノ企圖ヲ挫折スルニ努ムハシ

二 出動順序艦数並ニ監視ノ方法等ハ新高艦長適宜
之ヲ定ムハシ

二十三日 第六駆逐隊司令官

第六駆逐隊司令官宛

(第十駆逐隊第五中队) (新高) (第一中隊)ノ順序ヲ一週間ヲ更替
期間トシテ交代ウケル島沖領海外ヲ通航船舶及サ蘭國
官憲ニ我艦ノ絶ハス監視レバシキ知ラシムル為メ通告ノ手紙
ヲ執リ明載ス平四日第十駆逐隊司令官柳兼艦第三中队ヲ

率并出動不取逐隊ハ場合ニテ避泊並ニ給糧ノ爲メトテ止
島ニ寄泊ノコトニ致度御指令ヲ仰ク

新高艦長

新高艦長宛

風波ノ爲メトシテ避泊スル善支ナキモ糧食ハ成奇
彼南港ニ搭載セラルコトトシテ出動ハ速日ニ直ルヲ要セス
一週間ニ約一回、サバニニ姿ヲ現セハ可ナリ今ノ時機ヲ利用
シ成ルヘノ乗員ノ休養ニ努メラルコトヲ要ス人命ニヨリ

第六戰隊參謀

一月二十五日 木曜日 彼南

天候晴風向北東一北西 氣圧最高三〇・七 氣温最高八・六
最低二五・四 最低七・六

午前露國國仗裝巡洋艦一隻ヲ止出港

0350

半艇陸上教練
午後雜業

半艇雜業

一月二十六日 全曜日 彼南

天候晴 風向北東
力〇・一・二

氣圧最高三〇・八
最低二九・七

氣温最高七八
最低七六

午前雜業
午後雜業

一月二十七日 土曜日 彼南

天候晴 風向不定
力〇・一・二

氣圧最高三〇・八
最低二九・七

氣温最高八六
最低七七

午前艦内大掃除 防火教練

新高艦長

旗艦今後、行動左、如く予定せしむ。一月三十日古備母乳

二月四日ホノルルに着 二月八日 龍二月十日古倫母着 二月十五日
龍二月二十日彼南着 二月二十六日 龍二月二十八日新嘉坡着

第六戰隊参謀

一月二十一日日曜日 彼南

天候晴 風向北東 気圧最高^{三〇・八}最低^{二九・二} 気温最高^{八七}最低^{七七}

午前人員調査

新高艦長宛

英國支那艦隊司令官 一月二十八日附英國海軍省よりきた如キ

電訓ニ接ス

一月二十六日 德國潜水艇一ノケレゴタウニ沖ニ現レタリ 依テ後令

アニ迄一時凡テケレゴコロニシテ諸艦行南航ノ出港ヲ差止ムニ

廣田少佐

新高一柳

今朝四時半、アフリカの向ヶ彼南へ去りし青煙突洗船

ニ港務部長ノ命ニ依リ至急返ル可ク伝ヘヨ

第六戦隊司令官宛

港務長ハ四時半出港セシケレバヨリ行キ汽船ノ航海ヲ

止ルタメ馳逐艦ヲ出港セシメ其旨伝ヘラレタシト概観ヲ受

ケ本職ノ警戒中ノ事ナリ馳逐艦司令官電報ニ同船ニ伝達

方取計ヲヘリ

新高艦長

柳一新高艦長

二十六日末明燈台方面ニ向ヒ探照燈ヲ点ス天明カ團圓巡邏

艦出ヲ来ルニ我外艦砲射撃ヲ施行夕刻沖合ニ出テ幸

七日没後燈台附近ニ至リ商船燈台及陸岸ヲ探照シ

前後三時間目的ヲ達セテト認ム此行動四漣以外ナリ

originals

0353

一月二十九日 日曜日 後南

天候晴 風向北東
午前基本教練
氣圧最高三〇・八
最低二九・九
氣温最高七八・九

新高艦長宛

德國潜水艇「ケルン」沖に出現。聞き、前電取消
ノ旨英國海軍省より英國支那艦隊司令長官宛電
報アリト
一月二十九日 廣田少佐

一月三十日 火曜日 後南

天候晴 風向北東
氣圧最高三〇・七
最低二九・七
氣温最高九・〇

午前半艦運用術補修教育

新高艦長宛

来ル至日須磨ヲ率キ件ハ取止ム

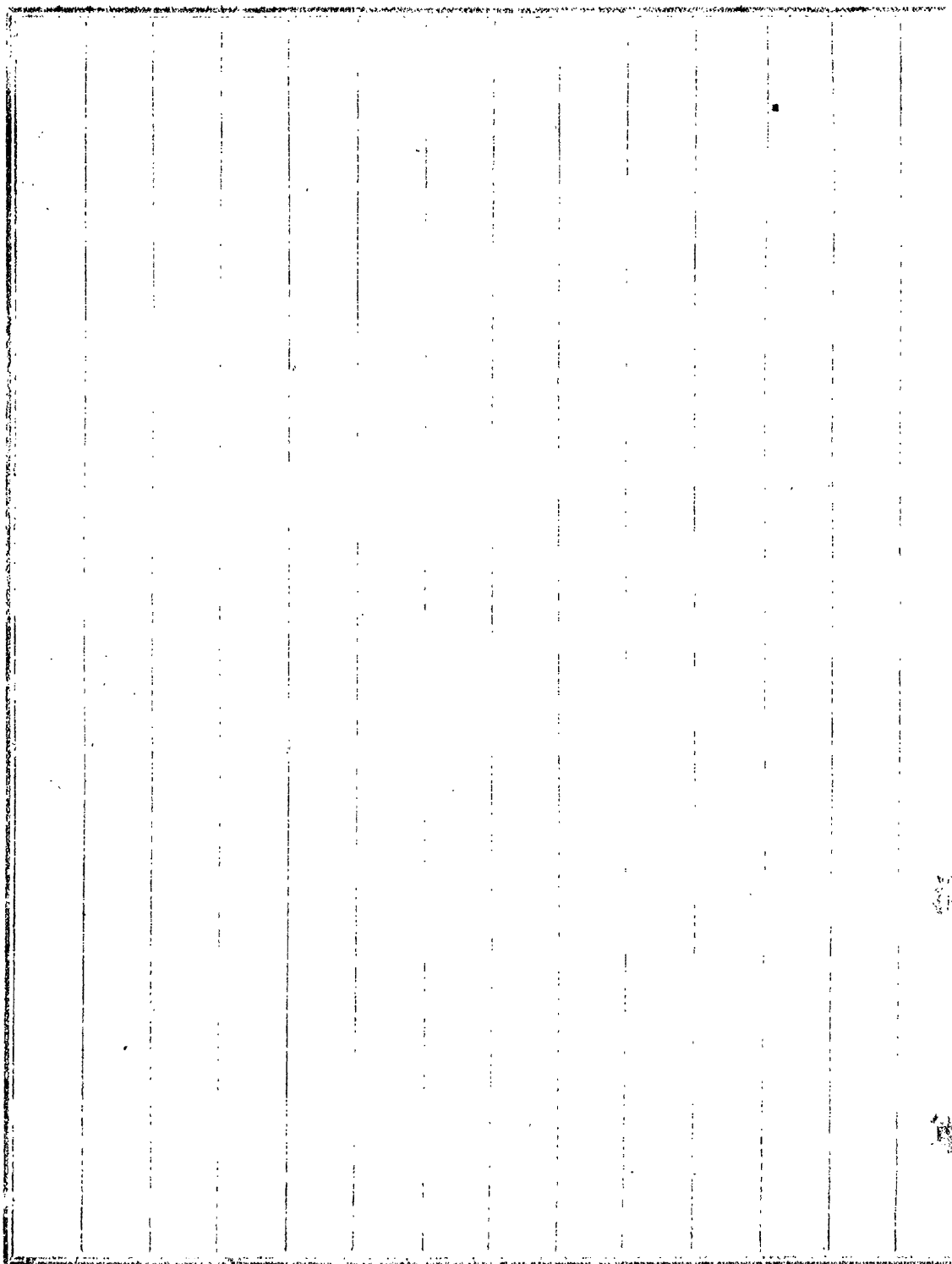
第六隊司令官

一月五日水曜日 彼南哨戒出航

天候半晴 風向北東ニ北西 気圧最高 1008 最低 1005 気温最高 15 最低 7

午後二時四十分彼南哨戒出航 島附近ニ向テ原速入節

0355



0356